

# みなみ

R3 竜王南小学校便り  
No. 8  
2021.10.25 発行  
甲斐市立竜王南小学校



学校教育目標  
「楽しい学校（楽校）の創造」  
— やる気 こん気 げん気 —

## オリンピック・パラリンピック 教育推進事業

本校は山梨県教育委員会より「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」の学校として指定を受けました。57年ぶりに東京で開催された「東京オリンピック」に合わせて活動を行いました。無観客になったオリンピック・パラリンピックでしたが、その分テレビ放送などで大きく報道されたので、夏休み期間中、全校に「オリンピック・パラリンピック」についての宿題を出しました。ご家庭でもご協力いただいたことと思います。

子供たちの感想を読むと、世界で1位を争うような実力者達の技は見応えあることや、チームプレーの場合は選手一人ひとりがきちんと役割を果たしていることなど、それぞれの素晴らしさをしっかり感じているようでした。



5・6年生の作品より

また、その推進校の活動として10月20日（水）には元シドニー五輪競泳日本代表で山梨県出身の萩原智子さんにオンラインで3～6年生に講演していただきました。7月から開催された東京オリンピック・パラリンピックでも水泳の解説者をされた方です。ご講演では自身の水泳との出会いから、成長の過程で出会った数々の体験をもとにお話しいただきました。「克己」という萩原さんが大切にしている言葉や、オリンピックや世界大会で実際に体験したエピソードなどから、どの子供でも経験するであろう“自分との葛藤や友達やライバルとの関わりや夢や目標を持つことの大切さ”など成長するために大事なことを沢山お話しいただきました。体験から紡がれた言葉の数々は、子供たちの心にもしっかり届いたようでした。



# GIGAスクール構想

～ 一人一台端末の活用 ～

現在、国は、「児童生徒一人一台端末」と、「高速大容量の通信ネットワーク環境」を一体的に整備する『GIGAスクール構想』を推進しています。この構想の目的は、「これまでの我が国の150年に及ぶ教育実践の蓄積の上に、最先端のICT教育を取り入れ、これまでの実践とICTとのベストミックスを図っていくことにより、これからの学校教育を変える」とこととされています。

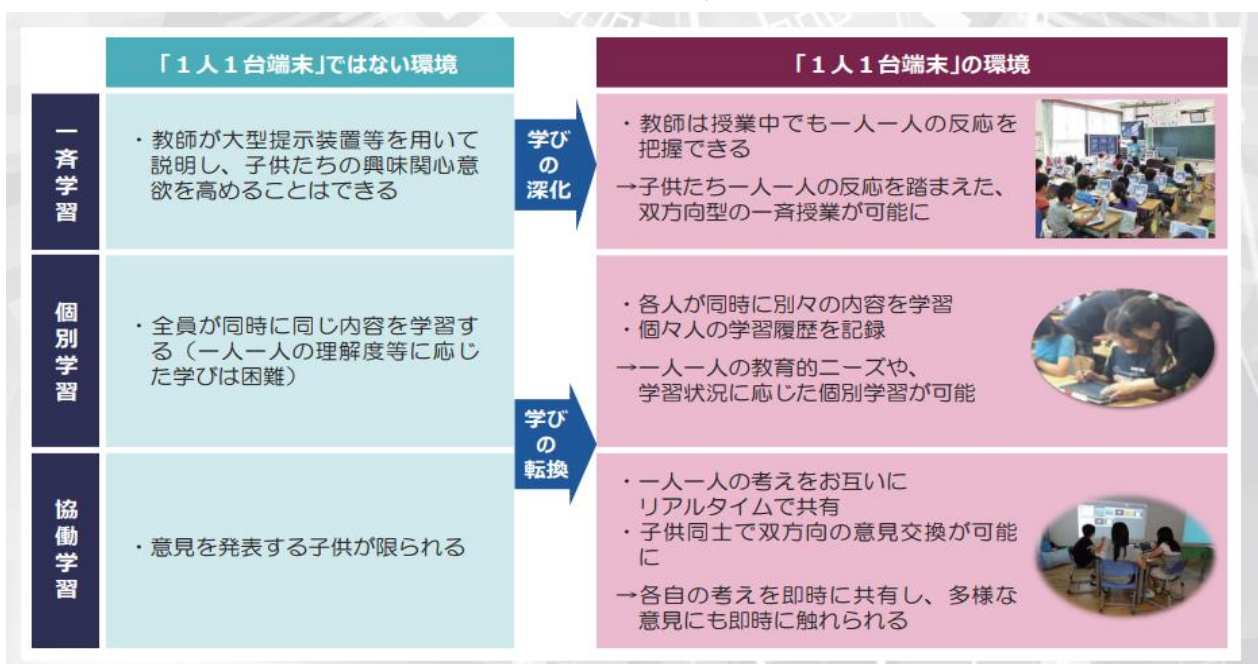


文部科学  
省資料より

GIGAスクール構想の「GIGA」とは、通信速度で使われている「ギガビット」ではなく、“Global and Innovation Gateway for All”の略です。これは、「すべての人にグローバルで革新的な入り口を」という意味であり、「誰一人取り残すことなく子供たち一人一人に個別最適化され、創造性を育む教育ICT環境の実現」を目指す施策であるとされています。

このような考えのもと、甲斐市内小中学校でも3月末までに校内通信ネットワークの整備と児童生徒一人一台端末の整備が行われました。その後4～5月には、子供たちも学校のタブレット（卒業時まで自分のものとして使用）を初めて手にし、ログイン作業を行いました。1学期からは授業の中でも使い、今までのノートとは異なる大きな魅力を感じているのかもしれませんが。

感染症等で休校等になった場合、オンライン授業も視野に入れた準備も進めています。本来2023年度までに実施する予定だったものが、一気に学校現場に来たので、まだまだ手探り状態です。しかし、子供たちの学びのために私たちも研究を進めています。オンライン授業を実施するとなると、保護者の皆様にも、家庭でのWi-Fi環境整備などご協力いただくなくてはなりません。9月になりWi-Fi環境の調査、10/15には実際に学校で使用しているタブレット端末機を見ていただきました。なお、甲斐市では家庭での実際の運用は来年度より正式に始めるとのことです。今後もこの新しい取り組みが円滑に進むために様々なご協力をいただくこととなると思いますが、よろしくお願いいたします。



(文責 長谷川佳代)